

このプリントでは、2021年2月14日に実施した文章読解・作成能力検定の3級の問題を使って、意見文の「理由」の書き方を説明します。検定問題は、協会HPよりダウンロードすることができます。

<https://www.kanken.or.jp/bunshouken/materials/example.html>

ステップ1 意見の理由を考えよう

「事実」の書き方は分かったけど「理由」をどうすればいいか、よく分からないよ。



じゃあ、今回は、「理由」の書き方を一緒に勉強しよう。

テーマ 友人が失敗したとき、アドバイスをする方がよいか、しない方がよいか



どちらの意見に賛成なのか、どうしてそう思うのかを考えてみて。

「アドバイスをする方がよい」に賛成。
アドバイスしたら、きっと喜ばれるよ。



「喜ばれるよ」を、自分の実際の体験として書けば「事実」になるし、だれにでもあてはまるように書けば、「理由」になるよ。

「事実」とまったく違う「理由」より、「事実」と「理由」が関連している方が、読む人にとって、分かりやすい意見文になるんだ。

へえ！ そうなんだ！



大事なのは、「事実」では、なるべく具体的に書くことと、「理由」では、それを抽象化、一般化して、「事実」以外の場面でも通用するような書き方にすることだよ。

その「抽象化、一般化」っていうのがよく分からないだよ。



だいじょうぶ。コツさえ分かれば難しくないよ。じゃあ、実際にやってみようか。

ステップ2 「事実」を「理由」に書きかえてみよう

ワーク



次の「事実」を「理由」に書き換えてみよう

「高田君はしょっちゅう忘れ物をしていたので、ある日、サインペンで手にメモをするようアドバイスをした。高田君は、「体育館シューズ」と自分の手に書いた。次の日、高田君は、体育館シューズを忘れずに持ってきていた。そしてそれ以降忘れ物をするのがなくなった。高田君は、忘れ物をしたくてしていたわけではない。忘れ物をするのを防ぎたくても、その方法が分からなかったのだ。」

どうやって書き換えればいいのかわからないよ。ヒントを教えて。



- ① 具体的な失敗やアドバイスの内容は省略する。
- ② 「高田君」を「友人」「だれでも」など、「忘れ物」を「失敗」に言い換える。
- ③ 過去形ではなく現在形を使う。

①と②は、「高田君」や「忘れ物」以外に当てはまるようにするためだね。
③の、「現在形を使う」のはどうしてなの？



「だれかの体験」ではなく、「だれにでも起こること」として読んでもらえるからだよ。

アドバイスをすることで、友人が失敗をするのを防ぐことができる。
だれでも、失敗をしたくてしているわけではない。失敗を防ぎたくても、自分ではその方法が分からないのだ。

できた！



うまく抽象化・一般化できたね。あとは、1文目を「なぜなら、アドバイスをすることで、友人が失敗するのを防ぐことができるからだ。」とすると、もっと「理由」らしくなるよ。

ようし、これで、「理由」はばっちりだ！
「事実」の書き方は、「【3級】意見文入門講座①」「【3級】意見文入門講座②」を見てね！

